

広報

あしや

1992年 9月15日号
(平成4年)

No.620

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(公聴広報課)
☎0797-31-2121
〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



第15回 わがまちクリーン作戦

三団体協議会(芦屋市自治会連合会、芦屋市環境衛生協会、芦屋市広報委員会)では、快適で清潔なまちづくりを目指して、昭和六十年から「わがまちクリーン作戦」を実施してきました。

今回も九月二十四日から十月一日までの「環境衛生週間」にあわせて、九月二十九日に、市内幹線道路、海岸線などの清掃を行いながら、「ごみを捨てない」「まちを汚さない」という啓発運動に取り組みます。

秋の全国交通安全運動 9月21日(月)～9月30日(水)



締めようシートベルト
落とそうスピード

交通ルールを取り入れた 交通安全ゲートボール大会

9月11日～9月20日は高齢者交通安全旬間です。みんなでゲートボールを楽しみながら、交通ルールについての理解を深めましょう。

日時 9月22日(火)
午前9時～
(雨天の時)
10月6日

会場 川西運動場
問い合わせ
道路課 ☎38-2062



9月21日(月)8:00～16:00 JR芦屋駅北側ペデストリアンデッキで「交通事故防止啓発写真展」を行います。ぜひご覧ください。

ごみ細分別が10月からスタート

十月から、これまで週一回収集していた不燃ごみを分けて、第二・第四週を「カンの日」、第三週を「ビンの日」、第一・第五週を「その他不燃ごみの日」に変更します。それぞれ該当の日に、透明なごみ袋に入れて、十二時三十分までにステーションへ出してください。

燃えるごみ、大型ごみの取り扱いには従来どおりです。啓発用として透明なごみ袋を、パイプラインによる不燃ごみ収集地区を除く全世帯を対象に、九月中旬に配布します。一世帯あたり三十枚とし、一回限りです。なくなりましたら、近くの販売店で買い求めてください。具体的な収集日については「ごみカレンダー」を作成し配布します。

九月二十八日(月)朝刊の日刊紙各紙の新聞折り込みによって配布します。ご家庭の見やすいところに掲示するなどしてご利用ください。

日時 九月二十九日(火)
午前九時～十一時三十分
(雨天中止)

集合場所 芦屋公園(浜芦屋町)

申し込み 各町の自治会へ

用具など 軍手、火箸、ごみ袋などは用意しています。

作業ができる服装で

なお「ごみカレンダー」がお手元に届かなかった場合はご連絡ください。問い合わせは、環境保全課(☎2051)へ。

資源ごみ集団回収 報償金の交付

上半期(平成四年四月～九月分)の、資源ごみ集団回収報償金の交付申請を受け付けています。回収団体の代表のかたは、所定書類を添えて、十月十五日(木)までに交付申請書を提出してください。資源ごみ一キロにつき、五円の報償金をお渡しします。問い合わせは、環境部総務課(☎2050)へ。

あなたの声を市政に —世論調査を実施—

市民の皆さまの意向、要望などを把握し、市政に反映させていくことを目的として世論調査を実施します。世論調査は三年ごとに実施しているもので、今回は生活面・文化面・福祉面・国際交流・広報活動について意識調査を行います。調査票が届いたかたはご協力をお願いします。問い合わせは公聴広報課(☎2006)へ。

期間 ●十月一日(木)～二十一日(水)
対象 ●市内在住の満二十歳以上の男女個人 千七百人
方法 ●調査票を郵送配布、郵送回収

10月1日 芦屋浜市民サービスコーナー開設

- 芦屋浜市民サービスコーナーが、十月一日(木)午前十時、芦屋浜センタービル三階(高浜町七番二号)にオープンします。
- 皆さまに親しまれるサービスコーナーを目指してまいりますので、どうぞご利用ください。
- 主な取り扱い業務は、
 - 戸籍謄抄本の交付
 - 住民票の写しの交付
 - 印鑑登録証明書の交付
 - 外国人登録済証明書の交付 等です。

問い合わせは市民課(☎2030)へ。

没後20年 後期(1950-1972) 吉原 治良 展

会期 10月11日(日)まで(開催中) / 会場 美術博物館
時間 10:00～17:00(入館は16:30まで) / 休館日 月曜日
観覧料 一般800円、大高生600円、中小生300円

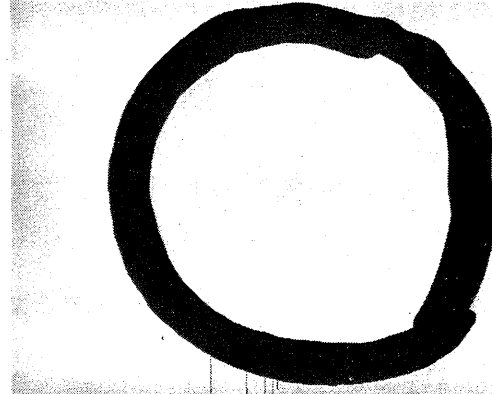
本年4月に開催された「吉原治良展(前期)」に続いて、1950年以降の仕事を紹介する「吉原治良展(後期)」を開催しています。

今回展示される吉原治良の作品は、終戦後の復興期からすでに抽象的表現の新しい試みを始めていた線的抽象の時代(1950～1954)、具体美術協会の指導者となったころからのアンフォルメル時代(1955～1965)、そして吉原の名を不動のものとした円の時代(1965～1972)の3つの時期に分け、その画風の変遷を紹介いたします。偉大な画家であり指導者でもあった、吉原治良の作品約70点で構成されます。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432



〈作品〉1958年



〈白地に黒い円〉1967年

有意義だったアメリカ訪問

ウォルナット・クリーク市、モンテベロ市(7/25~8/8)

第5回市立芦屋高等学校生徒海外派遣

両市でホームステイしながら語学研修を中心に、日本とは違う体験をしてきた2人の市高生に見てきたことや感想等を語ってもらいました。



まこと しんや 佐幸田 真也君

佐幸田真也君(3年)趣味エレキギター

- 中学校で英語を教えている外国人助手との英会話研修(12回)が役に立ち、現地に着いたときずっと英語が出てきた。恥かしさはなかった。
- 一緒にブルースを演奏した。アメリカ人のリズム感はすごい。生まれたときから日本人とは違うような気がした。共通の趣味があったので会話ははずんだ。

- 車椅子のマークが多く、障害のある人が自由に行動していた。福祉が充実していると思った。
- 夏休みの補習授業に参加した。教師の発問に必ず生徒が答えていたので、全員授業に参加していると感じた。あれなら先生もやり易いだろう。
- 向こうの人は意志表示をしっかりする。まねたいと思った。

藤原敏晃君(2年)趣味柔道・初段



みづから としあき 藤原 敏晃君

- 他府県の中・高生と一緒にだったが、遊び半分に参加している人は一人もいなかった。どの人も国際的な人間になろうと目的をもって参加しているように感じた。
- 日常会話は通じるが、マグロとマツタケの高い理由を説明するのが難しかった。一生懸命説明したが、きちっと説明するには単語の数を増やさなければと思った。

- 柔道着を着て柔道をした。アメリカの高校は柔道の授業があり一般に広く浸透している。投げられる役をして、拍手をもらった。
- 気軽に話しかけてくれた。どの人も仕事を楽しんでいる感じがした。みんなとても明るい。
- 日本は物が豊富だが、アメリカ人には心にゆとりがあると思った。

視野を広げたい(佐幸田真也)、英語を勉強したい(藤原敏晃)と目的を持って参加した2人ですが、充分達成されたようです。佐幸田君はなんでも自分で確かめ、意思表示をしっかりする人間になろうと思ったそうです。藤原君は将来英語を生かした職業につくために単語力を増やすつもりだと話してくれました。

短い期間でしたが、将来の生き方を決めるほどの大きな収穫を得て、帰ってきてくれました。海外派遣事業は、このように世界に目を向ける広い視野をもった市高生を育てています。

多くの出会いを求めて 広がる生涯学習



あしや愛唱の会

趣味に、スポーツに、そしてボランティア活動に、多くの人々が新たな出会いと心の充実を求めています。そんな、多くの活動をされているグループの中から三組を紹介します。あなたも素晴らしい出会いを発見する旅に出ませんか。

歌声は高らかに

五年前に公民館講座「なつかしい歌を歌おう」の同窓会として発足し、門田泰子先生の指導の下に、月一回誰でも気楽に大声で歌い楽しんでいきます。

八月八日に初めて、ルナ・ホールで発表会を行い、超満員の盛況ぶり、一緒に歌い楽しいひとときでした。

会長の若谷さんは「いつまでも歌を歌うのを忘れないで欲しい」と言っておられます。

会員は、四十歳から八十四歳まで百五十人ですが、現在、九十人の人が入会の順番待ちの状態です。(代表者 若谷哲夫 ☎31-1028)

あしや愛唱の会

なわとびで心の輪を

六年前にスタートし、誰でも楽しめる「遊び」としてのなわとびから、今や、「スポーツ」としてのなわとびに発展しています。

昨年七月芦屋市において、全日本

何気なく 言った言葉が 深い傷

山手中一年 稲田のぞみ 「差別をなくそう県民運動」佳作入賞

手話で交流を

二十年前に発足し、毎週二時間うあ者の参加もあり、実技をまじえ和やかに学習会を開いています。

「手話とは、ろうあ者の生活と文化を反映するもので知れば知るほど難しく、行き詰まりを感じることもありますが、今日よりも明日をと気長にがんばろうと励ましあって続けています。もっともっと多くの人に手話を習ってほしい。」と会のかたがたは語ってくれました。

ろうあ者からは「銀行、旅行社などに手話のできる人、乗り物などに文字表示がほしい。」と切実な思いを語ってくれました。あなたも、ろうあ者を理解するためにも、手話に興味をもってください。

手話サークル「クレッシェンド」



(代表者 原田薫 ☎31-2844 荒谷)



(代表者 原賀園子 ☎31-9701)

このページは市教委で編集しています。内容についてのご意見・お問い合わせは社会教育文化課(☎38-2091)まで。

秋の文学特別公開講座

H 時 10月5日(月)

13時30分~

場 所 市民センター

401室

内 容 在原業平と『伊勢物語』

講 師 関西大学教授 片桐洋一氏

受講料 無料

問い合わせ●市民センター(☎31-4995)



テレマン

第31回コンサート

イン

~ヴィヴァルディ・バッハの夕べ~

ルナ

9月19日(土) PM6時30分開演

入場料▶前売: ¥2,500 当日: ¥2,800

ミュージックディレクター/延原武春

独奏/ヴァイオリン・富永弘子

演奏/テレマンアンサンブル

A. ヴィヴァルディ/弦楽の為の協奏曲ニ短調

A. ヴィヴァルディ/4つのヴァイオリンの為の協奏曲変ロ長調

J. S. バッハ/管弦楽組曲第5番ト短調BWV1070

J. S. バッハ/ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調BWV1041

... etc

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。※前売券が売り切れの場合は、当日券を発行しませんので、上記取り扱いも中止となります。



■問い合わせ■
ルナ・ホール協会
業平町8-24
☎31-4962